

▼日韓の共通課題を議論

人口減少や地方創生など、日本と韓国に共通する課題を専門家が議論する「韓日共通課題対応フォーラム」が、仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台であった。写真。

駐仙台韓国総領事館主催で13日に開催され、県や市町村の職員ら約100人が参加。朴先哲総領事は「現在の日韓関係は、戦後で最も良いものになっている。未来志向で友好と信頼関係を築こう」とあいさつした。

東北大公共政策大学院の原田賢一郎教授と中央学院大学法学部の李憲模教授が講演した。原田教授は「人口が減少しても持続可能な地域づくりが重要ではないか」と指摘。李教授は韓国の



地方創生対策を紹介。日韓が共に首都圏に人口が集中している現状を踏まえ、「韓国はトップダウンで広域的な地方自治を展開しようとしている。日本も参考にしてほしい」と語った。フォーラムは2024年から開催し、今年で3回目。